

1990

平成2年

世の中の主な出来事

- 2月 南アフリカ解放指導者マンデラ氏釈放
- 5月 ロシア最高会議議長にエリツィン氏当選
- 6月 日米構造協議決着
- 礼宮文仁親王と川嶋紀子さん結婚
- 8月 イラク軍がクウェートに侵攻
- 10月 東西ドイツ統一、ドイツ連邦共和国誕生
- 11月 天皇陛下、即位の礼
- 12月 日本人初の宇宙飛行士・秋山豊寛さん、無事帰還

2月 第二新日鉄ビル中央区新

川が営業開始
EIおよびEIIの拠点として営業・企画機能を集約した。

3月 アイエヌテック(INE)社の

冷延工場竣工
87年7月に当社と米国インランドスチール社の合併により設立されたアイエヌテック社の、世界最新鋭の冷延鋼板工場が完成した。総建設費は約5億ドル、生産能力は100万トン/年となった。

3月 堺第二高炉休止

堺の鉄源設備が休止。昭和40年6月以来燃え続けてきた高炉の火が消えた。

3月 退職年金制度を導入

3月 堺パレボール部、日本リーグで2年連続優勝



4月 八幡に「スペースワールド」オープン

八幡・東田地区に宇宙体験を楽しめるテーマパーク「スペースワールド」がオープン。同年9月には開業以来の入園者

が100万人を突破した。

4月 大阪製鐵㈱と合同製鐵㈱の共同出資で関西ヒートセンター(株)設立
堺構内に電炉式の鉄源供給基地として設立された。

4月 「幕張テクノガーデン」完成

千葉幕張新都心に、建築事業部が民間各社とともに設計・施工した本格的インテリジェントビルで、建設当時全国2位の床面積を誇る。後に建設業協会賞を受賞した。



4月 容器用素材「キャンライト」を開発(社長表彰)

4月 高機能制振鋼板を開発(社長表彰)

4月 深海艇用鋼板を開発(社長表彰)

4月 斎藤英四郎名誉会長、勲二等旭日大綬章受章

5月 堺パレボール部、黒鷲旗全日本選手権大会で3年連続優勝(通算14回)

6月 「運転資産圧縮委員会」を設置

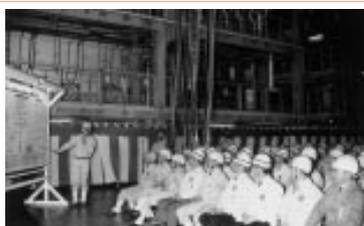
財務体質強化に向けた棚卸資産圧縮などの課題をリドすべく設置された。

6月 広畑で熱延溶融亜鉛めっき鋼板製造設備(HCGL)が稼働



6月 名古屋第五溶融亜鉛めっき設備(CGL)が稼働

厚目付高品質シルバアロイを生産する最新鋭設備となった。



7月 広畑野球部、都市対抗野球大会で準優勝

8月 八幡で新冷延工場が稼働

八幡の第一、第二、第三冷延設備のリプレースとして建設された。

9月 室蘭熱延設備休止

33年の歴史に幕がおりた。

11月 ブック型PC「Break」米国内で販売開始

12月 資本金を418億円に



1991

平成3年

世の中の主な出来事

- 2月 湾岸戦争終結
- 4月 ソ連ゴルバチョフ大統領来日
- 5月 インドのラジフ・ガンジー元首相暗殺
- 6月 長崎県雲仙普賢岳で大火山噴流発生
- 7月 ワルシャワ条約機構解体
- 11月 宮沢内閣発足
- 12月 ソ連邦が消滅し、独立国家共同体(CIS)発足

2月

第一回「新日鉄音楽賞」授賞式
フレッシュアイティスト賞が諏訪内晶子さん(バイオリン)に、特別賞が松本美和子さん(ソプラノ)に贈られた。



2月

「TRIP鋼」の開発を発表(91年社長表彰、99年大河内記念生産賞)

3月

物流総合対策の策定
製品倉庫・半製品ヤードの増強、全天候ハースの増設、日鐵流通センター(株)などの中継地能力の増強など、構内外物流の基盤整備を推進することとした。

3月

「H形鋼の高効率自在成形技術の開発」で大河内記念生産特賞受賞



3月

堺ハイボール部、日本リーグで3年連続優勝



4月

第一次中期経営計画スタート「4兆円ビジョン」の実現に向けた企業成長、「高収益企業への変革と強靱な財務体質の確立」を基本目標とする。

4月

「インラインによる高純度、高強度熱処理レールの開発」で市村産業賞貢献賞受賞

4月

メタル担体事業スタート

6月

米国オラル社と情報処理分野で業務提携

6月

「技術開発本部」設置
中央研究本部と設備技術本部を統合した。

6月

「情報通信システム部」「環境管理部」設置

7月

「新日鉄フェロ」制度」を制定

8月

君津で第二連続焼鈍処理設備(C.A.P.L.)が稼働



10月

釜石でオフィス家具製造・販売の新会社(株)エヌエスオムラを設立

10月

君津で第四溶融亜鉛メッキ設備(C.G.L.)が稼働



10月

自動車・建材向けの防錆ニッケルの高まりに対応した4CGLが稼働した。

10月

アイエヌコトメンス(株)の溶融亜鉛メッキ工場竣工
アイエヌコト社は89年9月合併により設立。9月の電気亜鉛メッキライン操業開始に続き、10月に溶融亜鉛メッキラインが操業開始し、全ラインが完成した。

11月

総合技術センター完工



12月

技術開発の中核拠点を目指す「総合技術センター」が君津に完工した。

名古屋で第二連続焼鈍処理設備(C.A.P.L.)が稼働
ブリキなど容器用鋼板の需要増に対応し、品質・生産性向上を目的に稼働した。



1992

平成4年

世の中の主な出来事

- 2月 アルヘルヒル冬季オリンピック開催
- 3月 東海道新幹線に「のぞみ」登場
- 5月 フリーピン大統領選でラモス氏当選
- 6月 ブラジルのリオで国連環境開発会議 P.K.O.協力法案成立
- 7月 バルセロナオリンピック開催
- 11月 米大統領選でクリントン氏当選
- 12月 韓国大統領選で金泳三氏当選

2月

タイの現地資本との合併会社、サイアム・ティンプレート社が営業運転開始
タイでの缶詰需要増に対応して、ブリキ等の容器用鋼板年間12万トンの生産能力をもつて営業を開始した。



4月

ファイナセラミックス事業スタート

4月

育児休業・福祉休暇制度を導入

4月

電気化学測定法による構造物の腐食診断技術の開発で市村産業賞貢献賞受賞

4月

高アレスト大入熱低温用鋼を開発(社長表彰)

5月

名古屋第一高炉火入れ

5月

室蘭で室蘭特殊鋼(株)、北海製鉄(株)、室蘭共同発電(株)、室蘭試験分析センターの共同起工式開催

7月

バルセロナオリンピックで柔道の吉田秀彦選手が金メダル
柔道(78キロ級)の吉田選手がバルセロナオリンピックで金メダルを獲得、その他、柔道の甲斐康浩、バレーボールの植田辰哉・中垣内祐一各選手が参加した。

7月

イラン国営製鉄所(NISC O)と、マネジメント・システムOの改善に関する協力契約を締結

7月

中国と、武漢鋼鉄公司 珞素鋼板工場拡張プロジェクトへの技術協力契約を締結

8月

パーソナル・コンピュータ事業から撤退

10月

IISI東京大会で、齋藤裕社長がIISI会長に就任

11月

君津の原料岸壁に日本初の本格的な連続式アンロダー完成



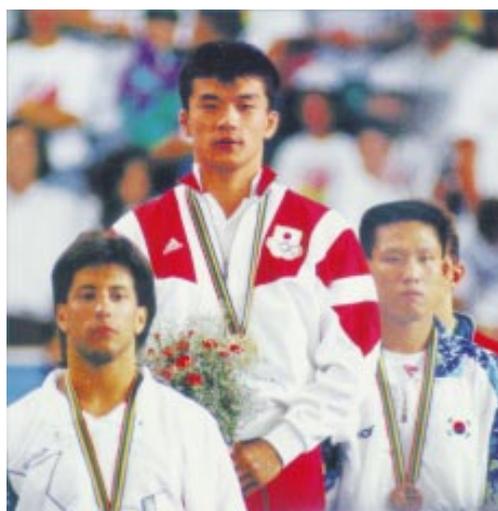
12月

君津CCT工場生産される塗装鋼板新商品「ビューコート」販売開始を発表
3K職場の改善、環境影響低減の視点から高まるプレコート鋼板の需要に応えたものである。



12月

八幡で新酸洗設備が稼働



1993

平成5年

世の中の主な出来事

- 1月 EC12が国統合市場発足
- 3月 中国国家主席に江沢民氏
- 6月 皇太子殿下と小和田雅子さん結婚
- 7月 北海道南西沖地震
- 8月 非自民6党連立細川内閣発足
- 9月 イスラエルとPLO・パレスチナ暫定自治宣言に調印
インドで大地震
- 11月 米国下院でNAFTA法案可決

1月 (株)エヌ・エム・ピー・セミコンダクターの経営権を譲り受ける

ミネベアから経営権を譲り受け、3月に日鉄セミコンダクター(株)へ社名変更した。

2月 大分で全天候バス完成

3月 「環境に関する行動指針」を策定

4月 八幡が、総合無災害8729万時間で世界新記録達成

4月 介護休業制度を導入

4月 高靱性フェライト・パールライト型熱間鍛造用非調質鋼を開発(社長表彰)

4月 非調質型高級油井用電線鋼管製造技術を開発(社長表彰、92年大河内記念生産賞)

4月 3600MPa級スチールコト用線材を開発(社長表彰)

4月 東芝鋼管(株)を子会社化

増資引き受けにより、当社が東芝鋼管の親会社となる。94年に名古屋小径管工場と東芝鋼管(株)の統合により、日鉄

鋼管(株)が発足した。

4月 (株)ニッテツ・ファイブ・プロダクツ設立



5月 大分第一高炉火入れ

5月 鉄海が地域冷暖房に適した水蓄熱システムを開発

「過冷却製氷方式」により製氷効率を従来より数倍向上させ、地域冷暖房などの大規模システムにも適用が容易な新システムを開発した。

5月 トヨタ自動車(株)からアルミ製品初受注

4月より当社とスカイアルミニウム(株)の提携関係のもと、販売窓口を当社に一本化し、初受注に至った。

6月 新経営体制発足
齋藤裕会長、今井敬社長就任。



6月 全国発明表彰、レーザー照射による極低鉄損方向性珪素鋼板で経団連会長賞受賞

6月 広畑第四高炉休止
第一次中期経営計画(87年)基本方針に基づき、広畑第四高炉を休止。当初計画では平成元年上期休止予定だったが、鉄鋼需給好転により延期された。

7月 広畑で世界初の冷鉄源溶解設備が稼働



7月 豪州バルカ炭鉱の権益を10%取得

豪州バルカ炭鉱の権益を10%取得
安価原料である非微粘結炭の供給確保のため決定した。同時期、鉄鉱石でもレノライトなど安価原料使用を進めた。

9月 建築事業部が受注した関西国際空港ターミナルビル大屋根完工



12月 名古屋でフィルムラミネートラインが稼働

東洋製罐(株)の開発したTULC向けの素材PETラミネートTFS製造設備が稼働した。



世の中の主な出来事

- 2月 リレハンメル冬季オリンピック開催
- 4月 羽田内閣発足
- 5月 英仏間のユーロトンネル開通
- 5月 南ア大統領選でマンデラ氏当選
- 6月 村山内閣発足
- 7月 北朝鮮の金日成主席死去
- 10月 大江健三郎がノーベル文学賞受賞



1月 鉄海が受注したイーストジャワプロジェクト完工
インドネシア最重要の国家プロジェクトである天然ガス長距離海底パイプライン敷設工事が完了した。

2月 八幡・東田地区総合開発スタート
JR九州、西鉄などの企業や北九州市との連携で検討を進めてきた東田地区都市開発事業がスタート。5月には土地区画整理事業の起工式を行った。

4月 第三次中期経営計画スタート

製鉄事業での国際競争力の再構築、経営ソフトのリストラクチャリング、複合経営・グループ戦略の強化推進、たゆみなき市場の開拓を骨子とする。

4月 経営方針会議と常務会を統合し、「経営会議」を設置
4月 北海製鉄㈱、三菱製鉄室蘭特殊鋼㈱、営業開始
当社と三菱製鉄㈱の合併会社である北海製鉄㈱（室蘭製鉄所第二高炉設備を承継）と三菱製鉄室蘭特殊鋼㈱（特殊鋼の製造・販売会社）が営業を開始した。

6月 宝山製鉄所第二期計画720万トン体制から1000万トン体制への拡張の二環でプラント供給契約を締結した。



6月 宝山製鉄所の連続焼純設備と電気ブリキラインを受注

上海宝山製鉄所の連続焼純設備と電気ブリキラインを受注

6月 南港コスモ地域冷暖房システム完工
国内最大級の地域冷暖房プラントをエネルギーエンジニア

6月 組織改正
販売・技術機能の一体化、本社企画管理部門の統合・再編成により、156部を111部に削減した。

7月 室蘭、光堺の野球部休部へ
第三次中期計画における運動部の集約・重点化で、8部が活動中の野球部のうち、3部を休部した。

11月 君津第二高炉火入れ
11月 「金融トレーディングシステム」設置
E1に「金融トレーディングシステム部」を設置、ミドル系のトレーディングシステム分野および国際系システム分野を含む、オープン系の金融向けシステムソリューション事業での大幅な受注拡大を図ることとした。

11月 リング事業部が一括受注。日本初の全面的海水利用、世界最大規模の水蓄熱層を採用した。

11月 光で第四冷延設備が稼働
世界最速、高性能のクラスターミルとして、輸出を中心にした需要の拡大により営業運転を開始した。



11月 (財)新日鉄文化財団を設立
11月 広畑柔道部、全日本選抜柔道大会で優勝
12月 広州太平洋ブリキ設立
当社ほか日本企業3社と広州現地資本の合併により、広州太平洋馬口鉄有限公司設立の調印がなされた。



1995

平成7年

世の中の主な出来事

- 1月 阪神大震災
- 2月 野茂投手、大リーグ入団決定
- 3月 地下鉄サリン事件発生
東京三菱銀行合併合意
- 4月 東京外為市場で1ドル80円を突破
米国オクラホマの連邦ビル爆破
- 5月 仏大統領選でシラク氏当選

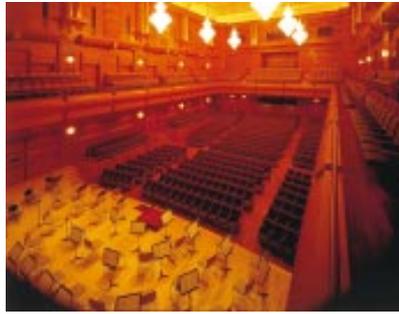
1月 阪神大震災で各所から支援活動

当社では、いち早く被災地域や各団体への社宅の提供や医療活動、義援金の募集活動など、全社をあげての支援活動を実施。堺、広畑、大阪支店では大きな被害はなかった。



4月 「紀尾井ホール」オープン

創立20周年記念事業の一環。オープンに先立ち、室内レジデント・オーケストラ「紀尾井シンフォニー」が3月にデビューした。



3月 「フェアロジウム分寺」竣工

都市開発事業のフェアロジウムシリーズ第号となった。



3月 「メガフロント」技術研究組合」設立

鉄鋼・造船17社による超大型浮体式海洋構造物の研究開発機関として設立された。

4月 スラブ電磁攪拌を開発(社長表彰)

橋梁用18000、20000MPa級ワイヤーを開発(社長表彰)

4月 NOMST(シールドの直接発進・直接到達工法)を開発(社長表彰)

NOMST(シールドの直接発進・直接到達工法)を開発(社長表彰)

4月 予熱低減型780N/鋼(建築・橋梁用鋼)を開発(社長表彰)

名古屋で第一溶融亜鉛めっき設備(CGL)が稼働



9月 鉄海が受注した、東京臨海副都心地区の地域冷暖房施設完工

6月 定款変更し、事業目的に「電気の供給事業」を追加

6月 全国発明表彰「スキューポート」によるH形鋼のウエブ拡幅圧延技術」で弁理士会会長賞受賞

9月 天皇陛下が君津を視察。天皇陛下が君津に来訪され、第四高炉、熱延、冷延の3工場を約1時間にわたって視察された。



9月 世界柔道選手権で古田秀彦選手が銀、岡泉茂選手が銅メダルを獲得



10月 今井敬社長がIISI会長に就任

10月 EITとエコムが、日本オラクル(株)とORACLEアプリケーション販売で提携

10月 サイラム・ユニテッド・スチール(SUS)の合併契約締結

10月 「スチールハウス研究会」発足。当社および住宅メーカー3社、建材加工メーカー2社による共同研究体制を整えた。

11月 インターネット上に当社ホームページ開設

11月 齋藤裕会長、勲一等瑞宝章受章

12月 八幡第一冷延設備廃止。昭和15年稼働の日本初の冷間圧延ミルであった。

1996

平成 8 年

世の中的主要出来事

- 1月 橋本内閣発足
- 3月 台湾総統選で李登輝氏当選
- 6月 O157による集団食中毒発生
- 7月 アトランタオリンピック開催
- 9月 ドジャース野茂がノーヒットノーラン達成
- 12月 グリラガベルのリマ日本大使公邸を襲撃、約600人が人質に



3月

大阪府茨木市環境衛生センター「ごみ直接溶融炉竣工」

3月

「低コスト・低環境負荷製鉄用「トックス製造技術」で大河内記念生産特賞受賞

1月

八幡で電磁鋼板焼鈍設備が稼働

3月

名古屋でISO14001の認証を取得
世界の鉄鋼業界で初めて国際環境マネジメントシステム規格ISO14001の認証を取得した。

4月

「環境管理方針」を策定

4月

「橋梁用超高張力鋼線の開発」で市村産業賞功績受賞

7月

メガフロート実証実験、着々と進行
メガフロート技術研究組合はメガフロート実現に向けた実証データの蓄積を目的とした。



7月

ニッセツ電子(株)マレーシアに新会社設立

7月

アトランタオリンピックに柔道の吉田秀彦、野球の松中信彦各選手が参加

8月

㈱マイクログラマレーシアにおける新会社設立の合併契約書に調印

9月

EI事業部、住友銀行向け「オフバランスリスク管理システム」完工



10月

「NSコラム」の販売開始を発表
建築用円形鋼管柱「NSコラム」の販売を開始。ファブリケーターでの省力化が可能になった。

10月

電力卸供給入札の落札候補に、室蘭・釜石・広畑・八幡選定
北海道電力(株)、東北電力(株)、関西電力(株)、九州電力(株)各社は、平成8年度電力卸供給入札の落札候補にそれぞれ室蘭・釜石・広畑・八幡を選定した。

12月

HIARES(I(ハイアレスト)鋼板製造プロセスの開発・実用化を発表(98年全国発明表彰発明賞、99年社長表彰) 予想外の衝撃力に対して優れた特性を持つ鋼板で、大型構造物の具現化に対する要求に応えた。



1997

平成9年

世の中の主な出来事

- 2月 中国最高指導者、鄧小平氏死去
- 4月 消費税5%に引き上げ
- 7月 香港が中国に返還
- タイ通貨暴落、アジア経済危機に発展
- 11月 北海道拓殖銀行・山 證券経営破綻
- 12月 韓国大統領選で金大中氏当選
- 地球温暖化防止京都会議(COP3)

1月 採用関連ホームページ開設

2月 君津で第五連続鋳造設備が稼働



3月 新日鉄プレイヤーズVリーグ初優勝



3月 プラント事業部がPOSCO光陽製鉄所向けのコクス乾式消火設備と第二期直流電気炉設備を受注

3月 日立日鉄半導体シンガポール社発足

4月 中期経営方針スタート
複合経営の構築、経営ソフトの革新、連結経営の強化・充実、需要創出と市場開拓により、安定的に1000億円以上の経常利益確保を目指す。

4月 人事処遇制度改正
系列区分の廃止・資格区分の見直し、仕事給体系の見直しなどを実施した。

4月 「ステンレス事業部」「シリコンウェー八事業部」設置

4月 EN事業本部組織再編成
マケット・事業領域に即した事業部編成に改編した。環境・水道事業部、エネルギー

4月 エンジニアリング事業部設置など。

4月 八幡に西日本ベトトルリサイクル(株)設立

4月 極厚H形鋼の営業生産開始

4月 NMセグメントを開発(社長表彰)

鋼板とコンクリートを合成し、接合部分にボルトを使わない工夫を加えたもので強度や施工性に優れ、工事期間と費用圧縮を可能にした。



4月 「方向性電磁鋼板の耐熱型磁区制御技術の開発」で市村産業賞貢献賞受賞

7月 組織・役職制度改正

職務層区分の再編成、グループ制の導入、製造ライン部門における管理階層の見直しなどを実施した。

7月 八幡でベイフロントパーク「ガーデンプラザ」「ウイメンズ八幡」オープン

10月には天然温泉施設「サイドスパ」も竣工した。

9月 極厚目付溶融亜鉛メッキ鋼板「ダイマシク」の販売開始

9月 八幡で全天候パース完成



10月 電力卸供給入札の落札候補に大分選定

九州電力(株)は平成9年度電力卸供給入札の落札候補に大分を選定した。

10月 光で世界最強最新鋭の圧延金属箔製造設備を増強

11月 日本オラル(株)に出資

12月 東京湾アクアライン完成

全長15.1kmの東京湾アクアラインが、約9年間の工事を終え、開通した。川崎人工島では、世界で初めて網製ジャケット式護岸工法などを実用化するとともに、網製橋脚に100年海水耐食のた



めチタンクラッド鋼板が採用された。

12月 名古屋で第二フィルムミネットラインが稼働



世の中の主な出来事

- 2月 長野冬季オリンピック開催
- 5月 インドネシアのスハルト大統領辞任
- 6月 サッカーW杯フランス大会日本初出場
- 7月 小淵内閣発足
- 9月 黒澤明監督、死去
- 10月 ドイツでシュレーダー政権発足
- 11月 国有長銀スタート
- 12月 日債銀、破綻認定で国有化



- 2月 八幡、第二高炉を休止し第四高炉火入れ
- 3月 新日鉄プレイザースVリーグで初の二連覇達成
- 3月 君津でISO14001を取得
- 4月 明石海峡大橋開通
鉄海がケーブル製作と現場架設を手がけた明石海峡大橋の開通式が行われた。



4月 新経営体制発足
今井敬会長、千速晃社長就任。



4月 「環境経営委員会」を設置
地球環境問題が急速に拡大するなか、営業活動や新ビジネスの創出、技術開発など経営全般にわたり、「環境」を軸とした取り組みを強化するため、3月の「環境部」に引き続き、「環境経営委員会」を設置した。

4月 エンジニアリング事業本部に「社内分社制」導入
業績評価の徹底および独立したエンジニアリング会社になさわしい運営体制の確立を目的に、「社内分社制」を導入した。

4月 大分で熱延連続化設備が稼働



4月 「関連会社部」設置

4月 技術開発本部内組織の再編成

5月 今井敬会長が第九代経団連会長に就任

5月 室蘭で中断面鑄片圧下設備が稼働

6月 室蘭港口に白鳥大橋が開通
鉄海がケーブル工事を担当。主として室蘭の線材がケーブルに使用された。



9月 2ピット缶用極薄ブリキ鋼板(0.19)の開発を発表

9月 光で世界初の双ドラム式ストリップ連続設備(STC)が稼働



10月 紀尾井ホール来館者50万人達成

10月 「ジノト21」を発表
表面処理にクロムを全く含まない電気亜鉛メッキ鋼板「ジノト21」が松下電器産業(株)の据置型ヒテオツキに採用された。

11月 鉄鋼業界で初めて環境報告書を発行

環境問題への社会的関心の高まりを踏まえ、情報開示の一環として発行した。

12月 POSCOの株式を取得
浦項総合製鐵(株) (POSCO) の米国預託証券約38万6000口発行済株式に占める比率0.1%を購入した。

9月 海浜耐候性鋼販売開始を発表(99年社長表彰、2000年市村産業賞貢献賞受賞)

9月 北九州テレコムセンターが竣工・開業

都市開発事業部が推進する八幡・東田開発に「北九州テレコムセンター」が竣工・開業し、新創造都市拠点づくりがスタートした。

世の中の主な出来事

- 1月 欧州に単一通貨ユーロ誕生
- 3月 NY株式市場 史上初のダウ1万ドル突破
日産とルノー提携発表
- 7月 NTT分割再編、新会社スタート
- 8月 第一勧銀、富士銀、興銀統合を発表
トルコ西部大地震
- 9月 台湾でM7.6の大地震
- 10月 インドネシアのワヒド大統領就任

- 1月 「シルバージンク21」を発表
クロムI処理をしない溶融亜鉛メッキ鋼板を商品化した。
- 1月 日鉄セミコンダクター(株)の経営権を台湾UMCに譲渡
- 1月 日鉄コンボジット(株)営業開始
- 3月 回転圧入鋼管杭、NSエムハイルを開発、本格販売を開始
大きな支持力、建設残土が発生しない、低騒音・低振動での施工が可能、リサイクルが可能などの特長を持つ環境にやさしい画期的商品を開発した。
- 3月 八幡、広畑で、ISO14001を取得
- 3月 E.Iが郵政省に郵政施設CALシステムを導入
- 3月 島根県立美術館、昭和館とთან建材の大型物件が次々にオープン



八幡の卸電力事業用発電設備



- 3月 「難処理性鉄鉱石資源の環境調和型焼結技術」で大河内記念生産特賞受賞
- 3月 「チタンクラッド熱延薄鋼板の開発」で市村産業賞貢献賞受賞
- 4月 「チタンクラッド熱延薄鋼板の採用された。旋回式浮体橋、夢州・舞州連絡橋にチタンクラッド薄鋼板が採用された。
- 4月 八幡と広畑の卸電力事業用発電設備が稼働

5月

最後の本州四国連絡橋 来島海峡大橋開通
因島大橋・大鳴門大橋・下津井・南北備讃・明石海峡と続いた本州四国連絡橋プロジェクトが完成した。



- 5月 ブラジルでの溶融亜鉛メッキ鋼板製造合併事業を決定
- 6月 大規模地下駐車場システム「トルネードパーク」を大成建設(株)と共同開発



広畑の卸電力事業用発電設備

6月

「ジン・ト・MZ」の開発および商品化を発表
鉛フリーのすず亜鉛メッキ鋼板「エコーコート」をタンク用に販売開始

- 7月 日新製鋼(株)と、ステンレス事業における業務提携企画を行う新会社を設立
- 7月 八幡・東田開発地域内に、「スペースワールド駅」が開業
- 7月 東京製造所で品質改善工事が完了
- 7月 ボイラー・自動車分野などの品質高度化に「ス」に込めるため、管材加熱炉改造などによる品質改善工事、肉厚精度向上対策工事が完了した。
- 7月 大分でISO14001を取得
- 8月 メガフロート浮体空港モデル完成



長さ1キロ、世界最大ギネスブック認定の浮体空港モデルが、神奈川県横須賀沖に完成した。

8月

先端技術研究所、富津へ移転

9月

ブラジルのウニバル社より、CGL設備一式を受注

- 10月 千速昇社長がISFI会長に就任
- 10月 大阪製鐵(株)と関西ピットセクター(株)が合併
- 10月 世界柔道選手権で吉田秀彦選手が優勝
- 10月 吉田選手が、イギリスで行われた世界柔道選手権大会で優勝した。



提供:共同通信社

- 11月 室蘭でISO14001を取得
- 12月 中期連結経営計画策定
- 12月 光でISO14001を取得

2000年

- 1月 堺でISO14001を取得
- 3月 明海IPP完成
- 3月 エネルギ・エンジニアリング事業部が、明海発電(株)(中部電力)向け卸電力事業よりフルターンキーで受注した。社外向け初のIPP事業が完成した。
- 3月 釜石でISO14001を取得